

なか むら かつ こ  
中村勝子さん

NPO(特定非営利活動)法人  
スペシャルオリンピックス日本評議員  
欧風花インスティテュート主宰

PROFILE

1944年山鹿市生まれ。高校に体育教諭として勤務。結婚退職後、花と出合いフラワーデザイン教室を開設。



「あなたの努力が素晴らしい」  
その価値観を日本にも広めたいと  
熊本で立ち上げたSO

NPO法人スペシャルオリンピックス  
日本・熊本 事務局  
熊本市中央区千葉城町5-50 熊本メディアビル4F  
TEL : 096-288-2781  
E-mail : so-nkuma@ceres.ocn.ne.jp  
URL : http://www.son-kumamoto.jp

欧風花インスティテュート  
熊本市東区湖東2-36-5

輝きの軌跡

2007年	1994年	1993年	1991年	1990年	1983年	1978年	1969年	1968年	1967年	1964年
就任										
SO日本・熊本参与										

中村勝子さんのキャリアストーリー

「スペシャルオリンピックス日本・熊本設立の経緯を教えてください。」  
中村 スペシャルオリンピックス(SO)は、知的障がいのある人たちに日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。このような活動があることを知ったのが30年以上前。素晴らしい取り組みだと共感し、その年にアメリカで開催された世界大会にボランティアで参加しました。その後、体操指導をしたダウン症の女の子がSO世界大会で銀メダルを取りました。ハンデはあっても、個人の努力の度合いを評価する方法が用いられているためです。その価値観に感動し、広く知らせたいと思いました。そこで「日本にもSOを」と、まず熊本で仲間と一緒に立ち上げました。

「一立ち上げは大変でしたか？」  
中村 子育てや本業のフラスクールを運営しながらでしたので、確かに簡単ではありませんでした。ですが、どうしてもやりたいという思いがありました。SOの価値観が広く伝わり共有できる社会になれば素晴らしいと思いませんか？ そんな思いをいろんな人に、ことあるごとに熱く語っているうちに協力してくれる方が集まってくるようになりました。悩んだり、立ち止まることもありましたが、そんなときは家族が応援し、支えてくれました。熊本から始めた日本のSOが、今は全国にその活動が広がっているというのがうれしいですね。  
「これから社会に出る女子学生にメッセージをお願いします。」

中村 女性には人や物事を生み育てる力があります。精神を鍛え叱咤激励して高みを目指すのが男性の特徴だとすれば、他人の自主性を重んじ、褒めて心を育てるのが女性の役割。女性は、新しい社会を作るのに適しているのだと思います。そういった意味でも、女性が社会に出ることは重要。自分にできることを探し、行動してください。



「正しいことはきつと成る」。祖父からもらった言葉です。つらい時にも自分を奮い立たせてくれます。

取材担当  
熊本大学3年  
砂岳佳菜恵